

**保健センター
学生総合支援室 年報**

令和 2 年度

**九州工業大学
健康支援・安全衛生推進機構**

目次

1. 保健センター

- 1) 年間事業報告
- 2) 新型コロナウイルス感染症への対応
- 3) 各地区保健センター報告

2. カウンセリング

- 1) 対応件数
- 2) 緊急学生アンケート（6月、12月）
- 3) カウンセリング室だより
- 4) 新型コロナの影響

3. 学生総合支援室

- 1) 年間事業報告
- 2) 対応件数

令和2年度 学生健康部門 事業報告

主要項目	重点項目	実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
健康診断		仕様策定（学生定期、学生通年）						●	●	●	●				
健康管理		入学前健康調査項目策定									●	●			
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策	★	COVID-19健康相談	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		有症状・自宅療養学生に対する健康観察	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		感染予防策の情報発信・教育・生活指導	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		課外活動再開のチェック・支援とフォロー			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		環境対策（講義室・トイレ・学生寮・食堂・サークル室等）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		健康診断の実施マニュアル作成				●		●			●				
		感染者発生時の対応マニュアル作成	●			●		●			●				随時
		健康日記アプリ・新型コロナ接触感染アプリ（COCOA）の紹介			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時
		事業継続計画（BCP）策定			●	●									
健康支援		COVID-19以外の感染症対策				●	●	●	●	●	●	●	●	●	随時

メンタルヘルス対策		GHQ検査・フォローアップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		カウンセリング室だより		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		復学者支援・フォローアップ	●	●					●	●					
		メンタルヘルス研修会（講演会）													中止
		新入生アンケート	●	●		●	●				●				
		カウンセラー・カンファレンス		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
調 査		休・退学、留年学生に対する調査													随時
		障害のある学生の就学支援に関する実態調査													随時
研究会等		日本学生相談学会		●											
		日本学生相談学会全国研修会								●					
講習会等		新入生オリエンテーション	●												
		新入生研修会講演	●												

評価	年間事業計画（中間・最終）														
----	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

感染拡大防止のため、風邪症状が出たら自宅療養をお願いします。

【学生用】新型コロナウイルス対策フローチャート (2020.12.1更新)

発熱や風邪症状およびその他の症状(別紙1参照)がある人

○自分で判断に迷う場合は保健センターへご相談ください。

メールで※1(最下部の表)の連絡先に報告の上、自宅療養。

- 毎日、自己健康管理表に体温や症状の有無等を記入する
- 自宅に体温計がない場合は、至急個人で購入する

下記1～3のいずれかに当てはまる

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある
2. 重症化しやすい人※2に該当する
3. 1・2以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続くか、4日を待たずとも自身が「強い症状」だと思う

※2 重症化しやすい人

- 60歳以上 ●糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある
- 透析を受けている ●免疫抑制剤や抗がん剤等内服中である
- 妊娠中の方も、早めに相談してください。

下記いずれかに電話で相談の上、指示に従う。

①かかりつけ医がいる場合は、かかりつけ医に電話で相談

②診療可能と公表されている福岡県内医療機関

★受診前に必ず電話相談してください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shinryo-kensa-kohyo.html>

③ 新型コロナウイルス関連受診相談先

- 北九州市在住の方:0570-093-567(24時間受付)
- 飯塚市在住の方 :0948-21-4972(平日8:30-17:00)
- 092-643-3288(夜間休日)

■その他福岡県内在住の方:

【福岡県庁HP】 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html#a1-5>

- 受診結果を※1(最下部の表)へ連絡。
- PCR検査の指示が出た場合は、検査予定日及び検査結果を※1(最下部の表)へ連絡。

発熱や咳など
比較的軽い風邪の症状で
3日以内に症状がなくなる

1. 症状があらわれた日を0日目として、8日目が経過している
2. 風邪薬・解熱薬を飲んでいない状態で、
☒平熱である
☒症状が消失している
の両方を満たした日を0日目として、3日目が経過している

上記1と2の条件を満たした場合(別紙2参照)は、自己健康管理表を※1(最下部の表)にメールで提出。

学校医より登校許可

終了

【九工大HP】

新型コロナウイルス感染症に関する対応“健康支援・感染防止”



<https://www.kyutech.ac.jp/information/entry-7492.html>

所属 キャンパス	※1 連絡先 (学内の状況を把握するための連絡先です)
戸畑	感染症学生専用(戸畑地区保健センター・工学部 学生係) t. COVID-19. stu@jimu.kyutech.ac.jp
飯塚	感染症学生専用(飯塚地区保健センター・情報工学部 学生係) i. COVID-19. stu@jimu.kyutech.ac.jp
若松	感染症学生専用(若松地区保健センター・生命体 学生・留学生係) w. COVID-19. stu@jimu.kyutech.ac.jp

【別紙1】

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状

●発熱

＊目安:37.5℃以上、または平熱より体温が1℃以上高い

＊平熱は人によって異なります。普段から体温を測定し、自分の平熱を把握しておきましょう。

●咳

●息苦しさ

(肺炎併発の恐れあり、注意を要する)

●喉の痛み

●味覚・嗅覚異常

(鼻づまりがないのに匂いがしない、味がしない等)

●消化器症状

(食欲不振・腹痛・下痢等)

●全身の強いけだるさ

●全身の筋肉痛・関節痛・・・等

※発熱がなくても、新型コロナウイルスに感染している場合があります。人により症状は様々です。自分の体調の変化に注意しましょう。

○自分で判断に迷う場合は、保健センターに相談してください。

戸畑地区保健センター	✉ hok-hoken@jimu.kyutech.ac.jp	☎ 093-884-3065
飯塚地区保健センター	✉ hok-jhohoken@jimu.kyutech.ac.jp	☎ 0948-29-7513
若松地区保健センター	✉ hok-sehoken@jimu.kyutech.ac.jp	☎ 093-695-6017

【別紙2】

新型コロナウイルスフローチャート自宅療養期間について

自宅療養後、大学へ登校するには、下記の2つの条件を満たす必要があります。

1. 症状があらわれた日を0日目として、**8日目**が経過している
2. 風邪薬・解熱剤を飲んでいない状態で、
 - ☒ 平熱である
 - ☒ 症状が消失している
 の両方を満たした日を0日目として、**3日目**が経過している

- ・症状があらわれた日から最短で**9日目**に登校可となります。
- ・0日目から自己健康管理表をつけ、自宅療養最終日の**15:00**までに指定のアドレスに提出し、学校医より登校可の指示をうけて登校してください。(最終日の夜の検温は15:00までに実施)
- ・自宅療養中に医療機関を受診し他疾患と診断された場合や、PCR検査を受け陰性であった場合も、上記2つの条件を満たしてから登校をしてください。
(他疾患であっても新型コロナに感染している可能性も否定できません。)

Aさん～Cさんの3つの例を挙げ、登校可能な日を表にしていますので、参考にしてください。

<表の見方について>

症状あり / 症状なし：発熱、咳、のどの痛み、全身倦怠感などの症状の有無を示しています。
発熱がなく咳などの症状のみの場合も『症状あり』となります。

🍯マークについて：風邪薬 または 解熱剤を飲んだ日を示しています。

■Aさん(症状出現後1日目で症状が消失した場合)

症状出現	症状出現日から経過した日数									
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	
症状あり	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	登校可能	
薬を飲んでいない、症状がない状態										
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	

➡ **9日目**から登校可能。

■Bさん(症状出現後5日目に症状が消失し、4日目まで薬を飲んでいた場合)

症状出現	症状出現日から経過した日数									
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	
🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	登校可能	
薬を飲んでいない、症状がない状態										
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	

➡ **9日目**から登校可能。

■Cさん(症状出現後5日目に症状が消失し、5日目まで薬を飲んでいた場合)

症状出現	症状出現日から経過した日数										
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状あり	🍯 症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	症状なし	登校可能	
薬を飲んでいない、症状がない状態											
0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	

薬を飲んで症状がない場合は、風邪症状が薬の効果で抑えられていると仮定します。

➡ **10日目**から登校可能。

自己健康管理表

氏名：	所属：	居住地(市町村まで)：
学生番号：	年齢： 歳	連絡先：

日付	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()
体温	朝	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
	夜	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
症状	咳	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	喉の痛み	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	強いだるさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	息苦しさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	薬の内服	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	その他の症状	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	※ありの場合は症状を記載	()	()	()	()	()	()

日付	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()
体温	朝	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
	夜	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
症状	咳	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	喉の痛み	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	強いだるさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	息苦しさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	薬の内服	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	その他の症状	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	※ありの場合は症状を記載	()	()	()	()	()	()

日付	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()
体温	朝	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
	夜	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃	()℃
症状	咳	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	喉の痛み	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	強いだるさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	息苦しさ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	薬の内服	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	その他の症状	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	※ありの場合は症状を記載	()	()	()	()	()	()

※ ①～③のいずれかに当てはまる場合は、下記いずれかの相談先に電話でご相談ください。

- ① 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある人
- ② 基礎疾患等を持っており、重症化しやすい人
- ③ ①・②に該当せず、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続くか、4日を待たずとも自身が「強い症状」だと思う

1. かかりつけ医がいる場合はかかりつけ医に相談
2. 診療可能と公表されている福岡県内医療機関 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shinryo-kensa-kohyo.html>
3. 新型コロナウイルス関連受診相談先
 - 北九州市在住の方:0570-093-567(24 時間受付)
 - 飯塚市在住の方 :0948-21-4972(平日 8:30-17:00) 092-643-3288 (夜間休日)
 - その他福岡県内在住の方:【福岡県庁 HP】<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html#a1-5>



◀ 提出先 ▶ (戸畑地区保健センター・工学部 学生係) E-mail:t.COVID-19.stu@jimu.kyutech.ac.jp
 (飯塚地区保健センター・情報工学部 学生係) E-mail:i.COVID-19.stu@jimu.kyutech.ac.jp
 (若松地区保健センター・生命体 学生・留学生係) E-mail:w.COVID-19.stu@jimu.kyutech.ac.jp

食材等宅配やデリバリーに関する情報まとめ

	名称	URL	利用時の登録	最低 注文金額	配送料	配達までにかかる日数	備考
食 材 等 の 自 宅 配 送	イオンネットスーパー	https://shop.aeon.com/netsuper/	必要 (費用は無料)	1500円	300円/回	申し込み状況による(1/19確認時、最短で1/20)	生鮮食品やお弁当・惣菜などの 購入可能
	サンリブネットスーパー	https://www.sunlivenetsuper.com/	必要 (費用は無料)	1500円	300円/回	申し込み状況による(1/19確認時、最短で1/24)	
	ASKUL	https://www.askul.co.jp/e/13/	必要 (費用は無料)	なし	3300円以上 →無料 3300円未満 →330円	商品によるが、食品・飲料などは翌日配送できる ものが多い	生鮮食品やお弁当・惣菜などは なし
	Amazon	https://www.amazon.co.jp/	必要 (費用は無料)	なし	2000円以上 →無料 2000円未満 →350円	商品によるが翌日・翌々日など可能なものもあり	
デ リ バ リ ー ・ 弁 当 の 宅 配	出前館	https://demaie-can.com/	必要 (費用は無料)	注文先により異なる	注文先により異なる	当日以降の指定日	
	Uber Eats	https://www.ubereats.com/jp	必要 (費用は無料)	なし (700円 未満の注文 の場合は手数料 150円、 サービス 料も別途 あり)	注文先により異なる	当日以降の指定日	
	宅配cook123	http://takuhaicook123.jp/	不要	なし	無料	翌日以降の指定日	基本的に高齢者向けに考えられた量・内容であるが、昼・夜それぞれ違う献立であり普通食はごはん付きで1食600円。

eラーニング

新型コロナウイルス感染症対策

保健センター学校医
嘉数直樹

1

飛沫感染と空気感染



新型コロナウイルスは飛沫感染するタイプ

2

単元1 理解確認テスト

新型コロナウイルスの感染経路について、正しくないのはどれか。2つ選べ。

- a. 飛沫感染
- b. 接触感染
- c. 経口感染
- d. 血液感染
- e. エアロゾル感染

3

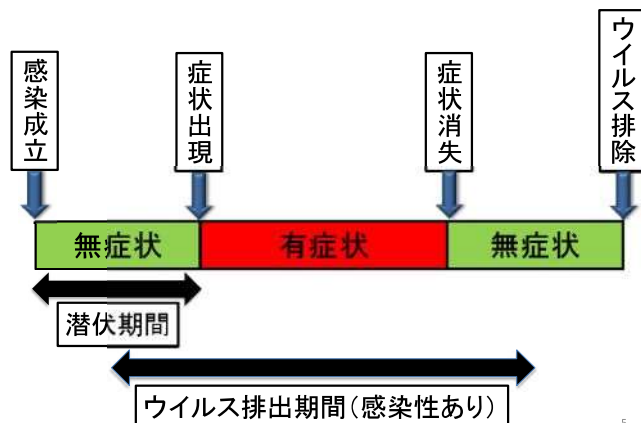
新型コロナウイルス感染症の症状

- 発熱
- 咳
- 息苦しさ(肺炎併発の恐れあり、注意を要する)
- 喉の痛み
- 味覚・嗅覚障害
- 消化器症状(食欲不振・腹痛・下痢等)
- 全身の強いけだるさ
- 全身の筋肉痛・関節痛・・・等

* 発熱の目安: 平熱は人によってまちまち
普段から体温を測定し、自分の平熱を把握しておく

4

無症状期間におけるウイルス排出



5

感染経路ごとの基本的感染予防策

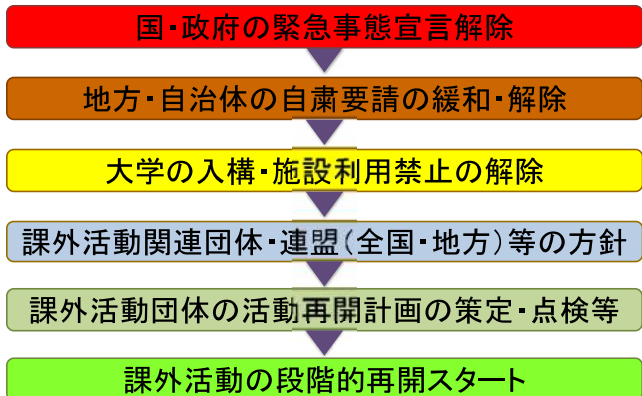
1. 飛沫感染対策
 - ・マスク着用(症状がなくとも)
 - ・咳エチケット
 - ・人が密集する場所ではできるだけ避ける
2. 接触感染対策
 - ・手洗い(流水と石鹸で入念に)
 - ・手指消毒(アルコール消毒)
 - ・多くの人の手が触れるところを消毒する(ドアノブ等)
 - ・練習・試合中の握手・ハイタッチの自粛



6

課外活動全般に対する活動再開に当たっての基本的事項

課外活動再開に向けたプロセス

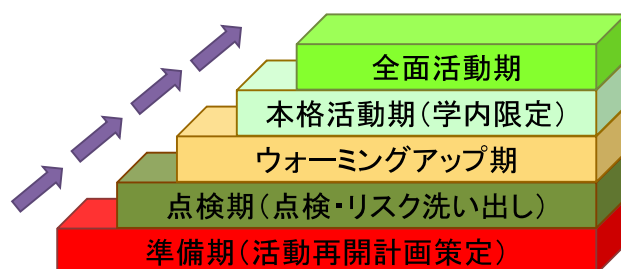


活動再開にあたっての基本的事項

- 事前に活動再開計画を策定して下さい
- メンバーに活動再開計画を周知して下さい
- メンバー間で基本的感染予防策を確認して下さい
- 活動中の基本的感染予防策を遵守して下さい
- 活動当日の参加者の体調を確認して下さい
- 当日の活動参加者の名簿の記録を残して下さい
- 活動参加を強制しないで下さい(お互いの尊重)
- 活動中の体調不良者は参加を中止させて下さい
- 他学との合同練習では厳しい方に合わせて下さい

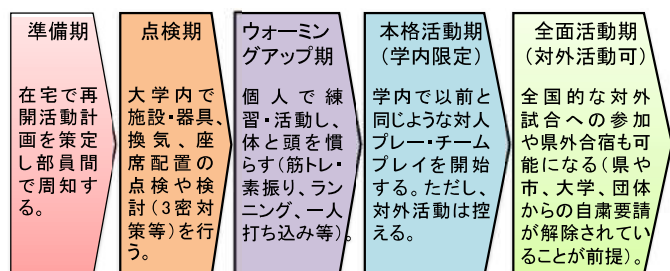
活動再開ステージの例

課外活動再開に際しては、以前と全く同じような活動からいきなり開始するのではなく、徐々に段階(ステージ)を踏んで活動を再開していくことが望ましい。



活動再開に向けたロードマップ例

- ロードマップの設計においては、段階(ステージ)設定や期間、段階ごとの活動内容は、それぞれの課外活動の個別性に依りて自律的に検討して下さい(後のスライドの柔道の例を参考に)。
- 活動再開計画においては、ステージを決めることから始めると、内容の整理がしやすいです。



段階的なトレーニングの例(サッカー)

フェーズ	トレーニング内容
フェーズ1	個人トレーニングの継続 ストレッチ、ランニング、フィットネス、ボール操作等 ※自らのコンディショニングチェック
フェーズ2	グループ活動の再開 スモールグループ(例5名/1グループ)を編成し時間を分けて実施。 接触の恐れのある対人プレーは避けて実施。
フェーズ3	チーム活動の再開 段階的に対人プレー(ポジション等)を実施。紅白戦等も試合時間や交代を工夫しながら段階的に実施する。
フェーズ4	トレーニングマッチ実施 選手のコンディションを考慮し、段階的に実施すること。 ※連戦は極力控え出場時間もコントロールする。 実施時は政府や学校による移動・宿泊制限を遵守する。
フェーズ5	公式戦(大会・リーグ戦)実施 万全な安全対策を講じた上で実施することが条件。 実施時は政府や学校による移動・宿泊制限を遵守する。

日本サッカー協会ガイドライン第1版(2020年5月22日作成)参考

課外活動再開計画書

第1版 (2020年6月22日)

ステージ (名称は適宜改変してよい)		条件	期間 (目安)	日数・活動 時間制限	活動参加 人数制限	活動場所 (屋外・屋内 の別)	活動予定内容 留意事項	その他
1	点検期	大学が入構許可 になった場合	6月30日 ～7月6日	週2回(1時 間)	幹部のみ で行う	若松 キャンパス 7330(50[m ²])	設備・器具の確認・整理を行う。 ・活動時には換気を徹底する。 ・マスクや消毒用グッズを利用する。 ・体調管理を徹底する。	・片付け・清掃も 行う。 ・危険個所の点 検も行う。
2	ウォーミン グアップ期	施設の通常使用 が可能になった 場合	7月7日 ～7月13 日	1時間	1名 /8 m ²	若松 キャンパス 7330(50[m ²])	ロボットの点検、物品の確認を行う。 ・個人間距離は2メートル以上離す[1]。 ・現場での滞在時間を減らし、可能な限り自 宅で作業を行う。[2] ・ミーティングは原則オンラインで行う[1]。	新入生に対し て、機器の取り 扱い等、丁寧に 指導する。
3	学内活動期	地域の感染が拡大 していない場合	7月14日 ～7月27 日	3時間	2名 /16 m ²	エコタウン 体育館(600[m ²])	複数人による研究開発・活動可能。 ・平日の屋内活動(ロボットの製作, ミーテ ィング)が可能。	共同で作業する 場合は特に注意 する。
4	国内活動期	国・県・市の移動 自粛要請が解除 になり、改めて 本学が許可した 場合	未定	未定	制限 なし	国内の試合施設 約1200[m ²]	国内活動可能。 ・国内試合への参加可能(許可がある場合)。 ・平日の国内活動(ロボットの製作, 試合) が可能。	学外活動先の感 染状況を確認す る。
5	全面活動期	国外への移動が 許可され、かつ 渡航先の安全が 確保される場合	未定	未定	制限 なし	国外の試合施設 約20000[m ²]	国外活動可能。 ・国外試合への参加可能(許可がある場合)。 ・平日の屋内活動と海外での施設での活動が 可能。	国外における活 動先の感染状況 を確認する。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための
九州工業大学課外活動リスクレベル別行動指針

リスクレベル	本学の判断基準	具体的対策
レベル5 嚴重警報	国から緊急事態宣言が出た場合	① 緊急事態宣言が解除されるまでの間は、課外活動（オンライン活動は除く）は<u>全面禁止</u>とする ② 解除後の活動再開においては、改めて活動再開計画書の提出を要することがある
レベル4 警報	国・県や市から不要不急の移動・外出の自粛要請が出た場合	① 不要不急の移動・外出の自粛要請が解除されるまでの間は、課外活動（オンライン活動は除く）は<u>全面禁止</u>とする
レベル3 嚴重警戒	国・県・市・周辺地域において感染が拡大していると判断される場合（医療機関以外（特に他大学）でのクラスター発生、感染経路不明の新規感染者の断続的増加等）	① メンバー個人の基本的感染対策の実践（マスク着用、手洗い・手指消毒等） ② 活動当日におけるメンバーの体温・体調確認 ③ 接近を伴う活動（1m以内）の<u>自粛</u> ④ ミーティング（オンライン会議・屋外は除く）は<u>原則禁止</u>とする ⑤ 課外活動団体全体を通して合宿・遠征・対外試合・公演・ライブ等は<u>原則禁止</u>とする
レベル2 警戒	国・県・市・周辺地域において感染は収束傾向にあるものの、なお持続していると判断される場合（新規感染者の散発的発生等）	① メンバー個人の基本的感染対策の実践（マスク着用、手洗い・手指消毒等） ② 活動当日におけるメンバーの体温・体調確認 ③ 接近を伴う活動（1m以内）への<u>注意</u> ④ ミーティングでの<u>3密（密集・密閉・密接）回避</u> ⑤ 合宿・遠征・対外試合・公演・ライブ等は、慎重な個別確認（学生係・学校医）による<u>許可制（部局長決済）</u>とする
レベル1 注意維持	国・県・市・周辺地域において新規感染者の発生が、直近2週間は認められないと判断される場合	① メンバー個人の基本的感染対策の実践（マスク着用、手洗い・手指消毒等） ② 活動当日におけるメンバーの体温・体調確認 ③ 活動における社会的距離確保の<u>努力</u> ④ ミーティングでの<u>3密（密集・密閉・密接）回避</u> ⑤ 合宿・遠征・対外試合・公演・ライブ等は、<u>届出制</u>とする（原則として個別確認は要しない）

サーモグラフィーカメラ



足踏み式アルコール 消毒液噴霧器



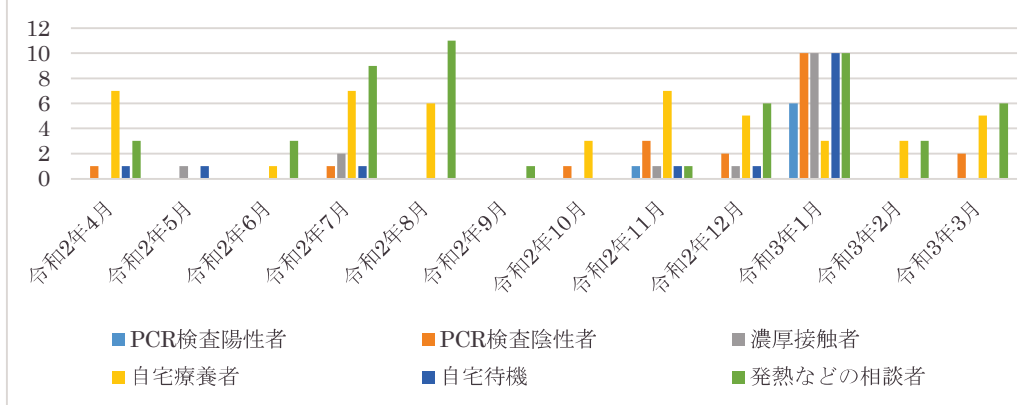
令和2年度 戸畑地区保健センター報告

Ⅰ. 新型コロナウイルス感染症の取り組み（戸畑地区保健センター）

1. 新型コロナウイルス感染症に関する学生数

令和2年度 新型コロナウイルス感染症に係る学生数（戸畑学生）						人数
	PCR検査陽性者	PCR検査陰性者	濃厚接触者	自宅療養者	自宅待機	発熱などの相談者
令和2年4月	0	1	0	7	1	3
令和2年5月	0	0	1	0	1	0
令和2年6月	0	0	0	1	0	3
令和2年7月	0	1	2	7	1	9
令和2年8月	0	0	0	6	0	11
令和2年9月	0	0	0	0	0	1
令和2年10月	0	1	0	3	0	0
令和2年11月	1	3	1	7	1	1
令和2年12月	0	2	1	5	1	6
令和3年1月	6	10	10	3	10	10
令和3年2月	0	0	0	3	0	3
令和3年3月	0	2	0	5	0	6
合計	7	20	15	47	15	53

（図1）令和2年度新型コロナウイルス感染症に関する学生数



2. 新型コロナウイルス感染症対策に基づいた健康診断の実施

- ① 戸畑地区保健センター「学生健康診断時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を令和2年8月に作成 健診業者と情報を共有し調整をする
 - ・厚生労働省より通達の間人ドック学会他7学会の推奨するガイドラインを参照
- ② WEB予約の時間の細分化と人数制限（密を避けるため30分毎の学生数を制限）
 - ・1日の受診者数を、昨年度まで1日900～1000人→400～500人へ調整
- ③ 健康調査票を事前にMoodleにて作成し、学生はWEB入力で回答する
 - ・健診にかかる時間を短縮

- ・健診における狭い空間での医師の診察を中止し、WEB 問診と事後フォローに変更

④ 学生の新型コロナウイルス感染症対策

- ・感染対策について表示内容を具体的に掲示し、周知の回数を増やし、工学部事務部、学科事務にも協力を仰いだ。
- ・健診会場に入る際も、サーモグラフィカメラを設置し、発熱者やマスクをしてない学生のチェックを行い、必ずアルコール消毒の実施、私語をしないように注意喚起の掲示を行った。



会場前の消毒掲示



AI サーモグラフィカメラで検温



足形の表示にて、フィジカルディスタンスの確保



⑤ 学生の状況

- ・健康診断後、新型コロナウイルス感染者は発生しなかった。
- ・学生は、平均 1 人 15 分程度で、健診が終了した。

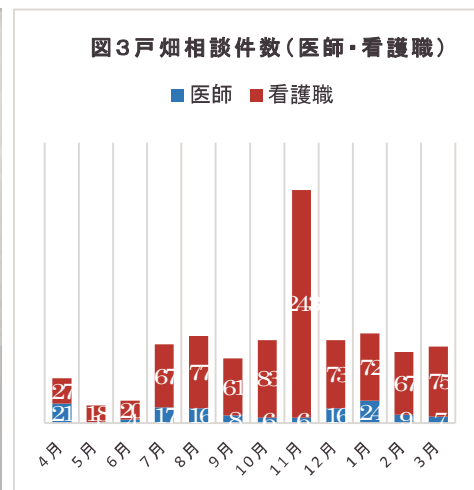
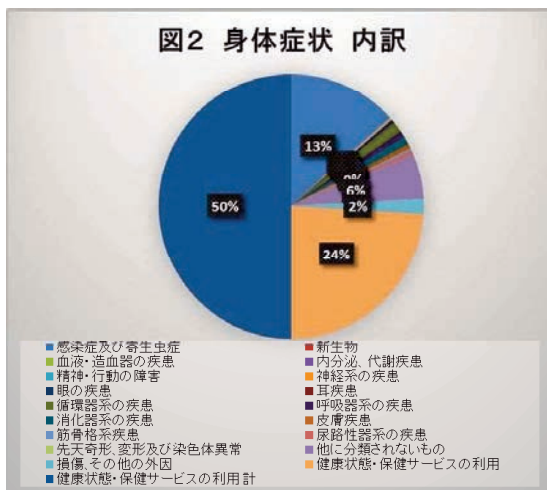
3. 新型コロナウイルス感染症対策のための掲示物の作成

- ・新型コロナウイルス対策フローチャート
- ・濃厚接触者用フローチャート
- ・自己健康管理表
- ・食材など宅配やデリバリーに関する情報提供等

II. 令和2年度戸畑地区保健センター利用状況（学生）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
感染症及び寄生虫症	5	2	6	20	48	19	24	16	20	49	11	9	229
新生物													0
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害													0
内分泌、栄養及び代謝疾患													0
精神及び行動の障害	1							1					2
神経系の疾患							1				2	1	4
眼及び付属器の疾患	1				1		1		1	1	2		7
耳及び乳突突起の疾患					2								2
循環器系の疾患		2					1	2			3	13	21
呼吸器系の疾患	1							2	2		3	7	15
消化器系の疾患	1			2	2	1	1	1	3	1	2	2	16
皮膚及び皮下組織の疾患				4		1	1		2		1		9
筋骨格系及び結合組織の疾患							1	1			1	2	5
泌尿器系の疾患				1				1	1		4	2	9
先天奇形、変形及び染色体異常													0
症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	9	1	3	8	24	10	11	15	2	6	6	1	96
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1		1	4	7	1	5	5	4	1	1	1	31
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12	2	5	35	16	25	17	194	37	24	23	22	412
計	31	7	15	74	100	57	63	238	72	82	59	60	858

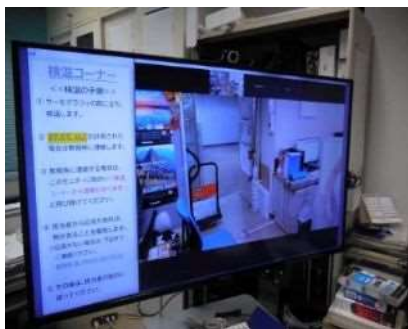
*その他の保健サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド利用							1	1		2	1		5
紹介状発行	1		1	1	1	2			4	2	3	2	17
検査・測定(機器利用)	2	1	1	63	79	36	50	212	30	25	75	52	626
病院紹介・その他	27	8	11	45	44	24	48	77	67	80	48	41	520



・令和2年度は新型コロナウイルス感染症と結核感染者が発生したこともあり、感染症数が例年より大幅に増加した。

資料：令和 2 年度 飯塚地区保健センターの取組み

サーモグラフィーによる
検温コーナーの開設



COVID-19 の水際対策
キャンパス入口の掲示



学生寮の感染対策
Student Residence



学生の感染症予防教育
(安全衛生連絡員など)



R2 年度はオンライン併用

感染症発生の事後措置

(サテライト福岡天神の消毒、衛生管理)



R2 年度 COVID-19 感染および感染疑い者数の動向 (飯塚学生)

	感染者	濃厚接触者	その他	体調不良者
R2 年 4 月	0	0	0	0
5 月	0	0	0	1
6 月	0	0	0	4
7 月	0	1	0	11
8 月	0	0	0	7
9 月	0	0	0	1
10 月	0	0	2	5
11 月	0	0	0	11
12 月	0	0	3	10
R3 年 1 月	0	3	3	8
2 月	0	0	0	2
3 月	0	3	0	0
計 (名)	0	7	8	60

地域貢献、地域連携など

本学の社会貢献として台風 10 号避難所への協力

令和 2 年 9 月 6～7 日

避難所：講義棟

避難者：約 110 名

市役所職員：約 10 名

(うち保健師 2 名)

※本学保健師も宿直対応



地域医療連携の構築

(学内インフルエンザ集団予防接種)



令和 2 年度若松地区保健センター事業報告～感染症対策を中心に～

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

- ・若松キャンパス入構ルールの策定、提示
- ・入り口・講義室前の 2 カ所にサーモグラフィーカメラ設置
- ・体調不良時の行動マニュアルの作成・周知
- ・衛生巡視(3 密対策の確認・CO2 測定による換気の評価など)
- ・健康情報発信(新しい生活様式における熱中症対策など)
- ・COVID-19 関連の健康相談

若松地区学生相談件数(実数)

	PCR陽性	濃厚接触者	接触疑い (COCOA含)	発熱等の相談	渡航・入国	心理相談
令和2年4月						2
5月				1		1
6月						1
7月		1		2		2
8月				6	1	3
9月				4		2
10月				2	1	
11月		1	1	2	3	
12月			1	1	8	
令和3年1月	1			4	2	
2月				2		1
3月				1		

2. 学生健康診断と感染対策

	在籍数	対象者数 ※1	受診者数 ※2	受診率
新M1	128	128	121	94.5%
在M1	11	11	9	81.8%
M2	128	127	99	78.0%
新D1	19	15	12	80.0%
在D1	17	17	13	76.5%
D2	33	24	22	91.7%
D3	80	54	24	44.4%
研究生	1	1	1	100.0%
若松合計	417	377	301	79.8%

緊急事態宣言措置のため、新入生健診を 4 月→10 月へ延期とした。

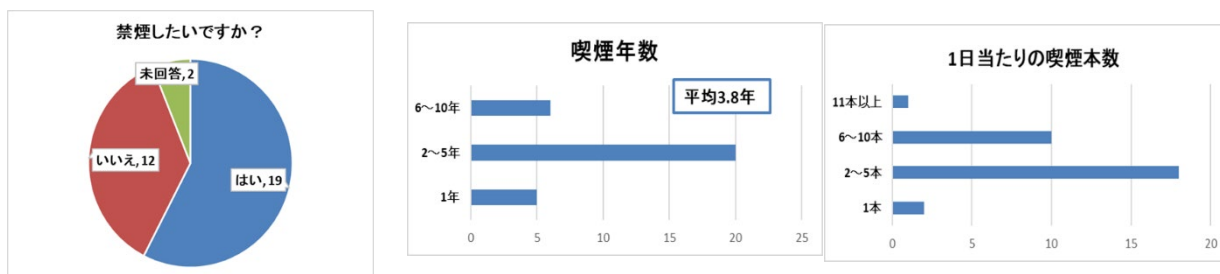
受付前にサーモグラフィーによる検温、マスク着用、アルコールによる手指消毒など万全な感染対策の上で実施した。

事前に WEB 問診を実施したことも感染症対策につながった。

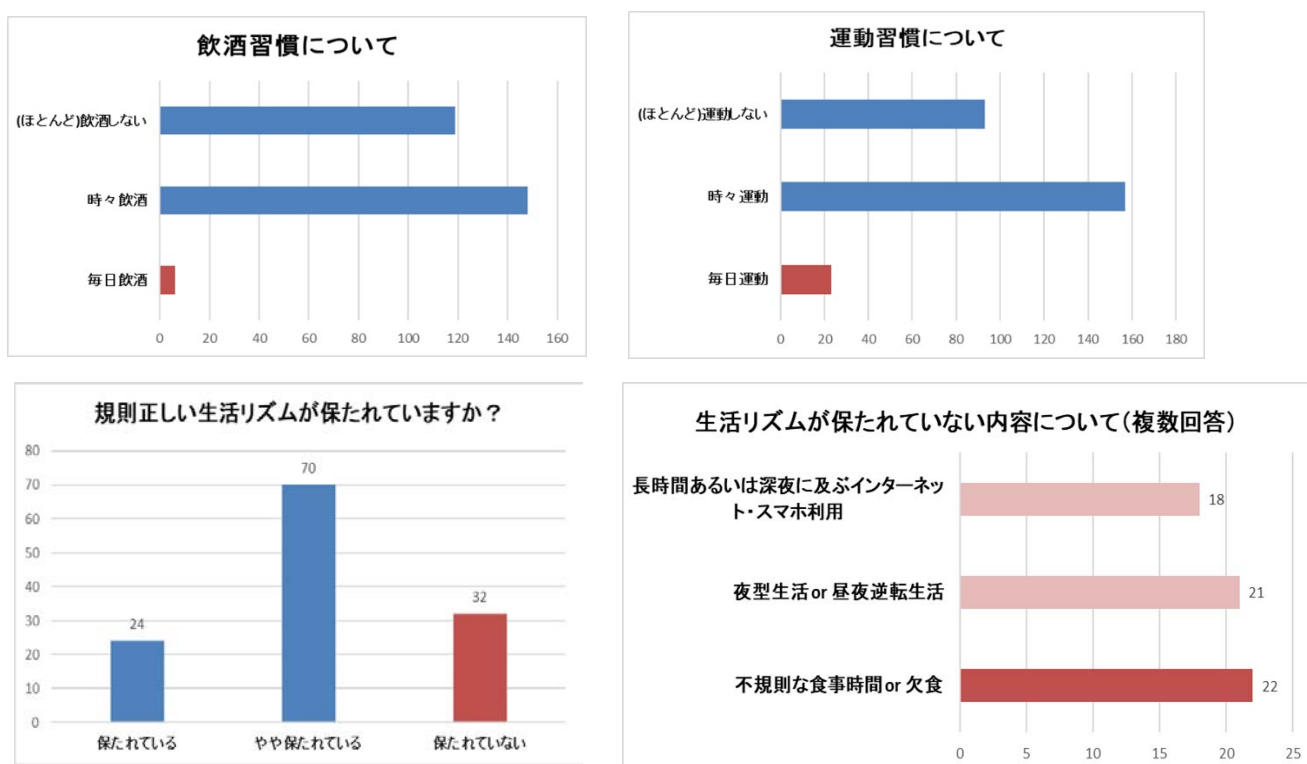
留学生の多くが、措置のため来日できず、新入生の定期健康診断受診率が低下した。入国制限が緩和され来日次第に、随時、通年契約による医療機関での個別受診を案内した。

3. 健康調査結果

・喫煙習慣 学生喫煙率 12.1%(男性 13.1%・女性 3%) ※令和元年度喫煙率 10.4%



・飲酒・運動習慣

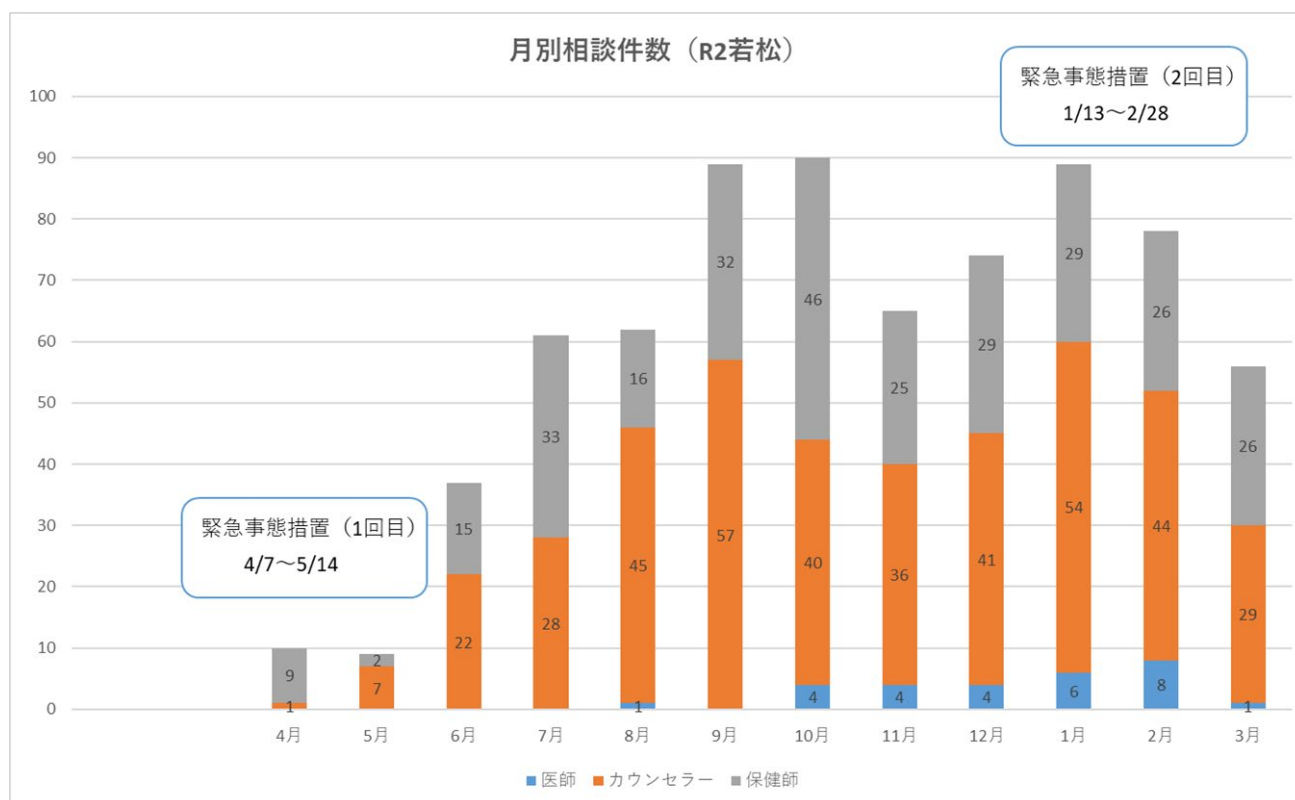


喫煙調査について、平成 30 年 10 月より、キャンパス内禁煙となったが、学研都市内には喫煙所が存在するため、本学学生も利用しており、キャンパス内禁煙の効果が薄い。喫煙ブースの外側での喫煙や、ポイ捨ても依然と確認されているため、若松地区安全衛生チームで喫煙パトロールを不定期に実施している。喫煙学生のうち、半数以上は禁煙したいと回答しているため、保健センターでは引き続き禁煙のサポートを実施していく。

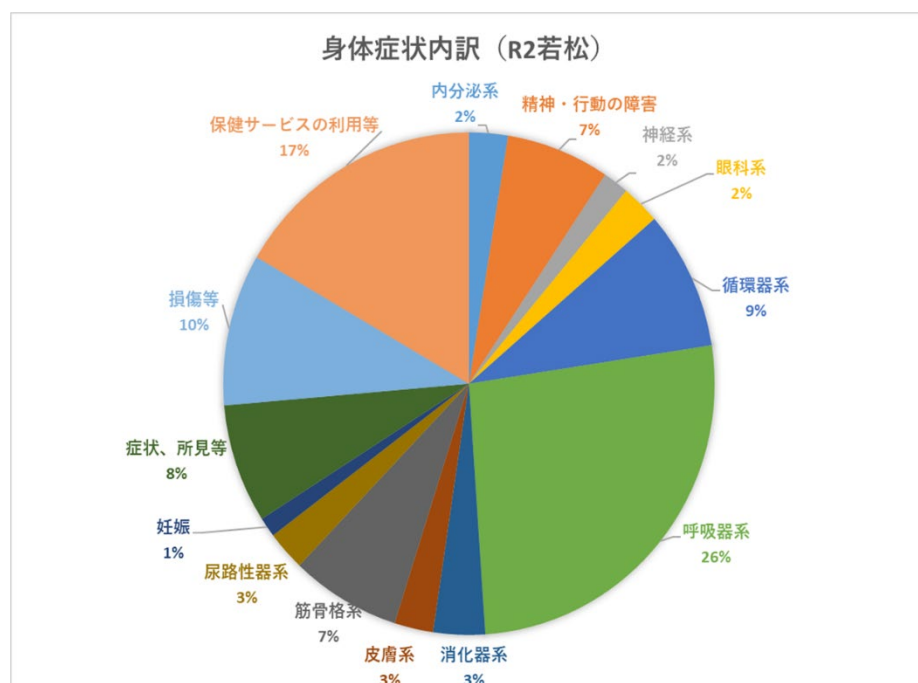
飲酒習慣については、例年と傾向に変わりはないが、学生から「家ではあまり飲まない。友人と外食をあまり行かなくなったので、最近はほとんどお酒を飲んでいない。」旨の同様な意見が多く聞かれた。

感染拡大の影響でリモートでの授業や研究活動が中心となり、生活リズムの乱れが危惧されたため、例年の健康調査に加えて、新入生を対象に生活リズムについての質問を行った。朝食摂取状況の質問で「朝食を毎日食べている」との回答者で「規則正しい生活リズムが保たれていない」と回答する学生はいなかったことより、朝食の欠食が生活リズムの乱れにつながっていることが考えられた。

4. 若松地区保健センター利用状況報告



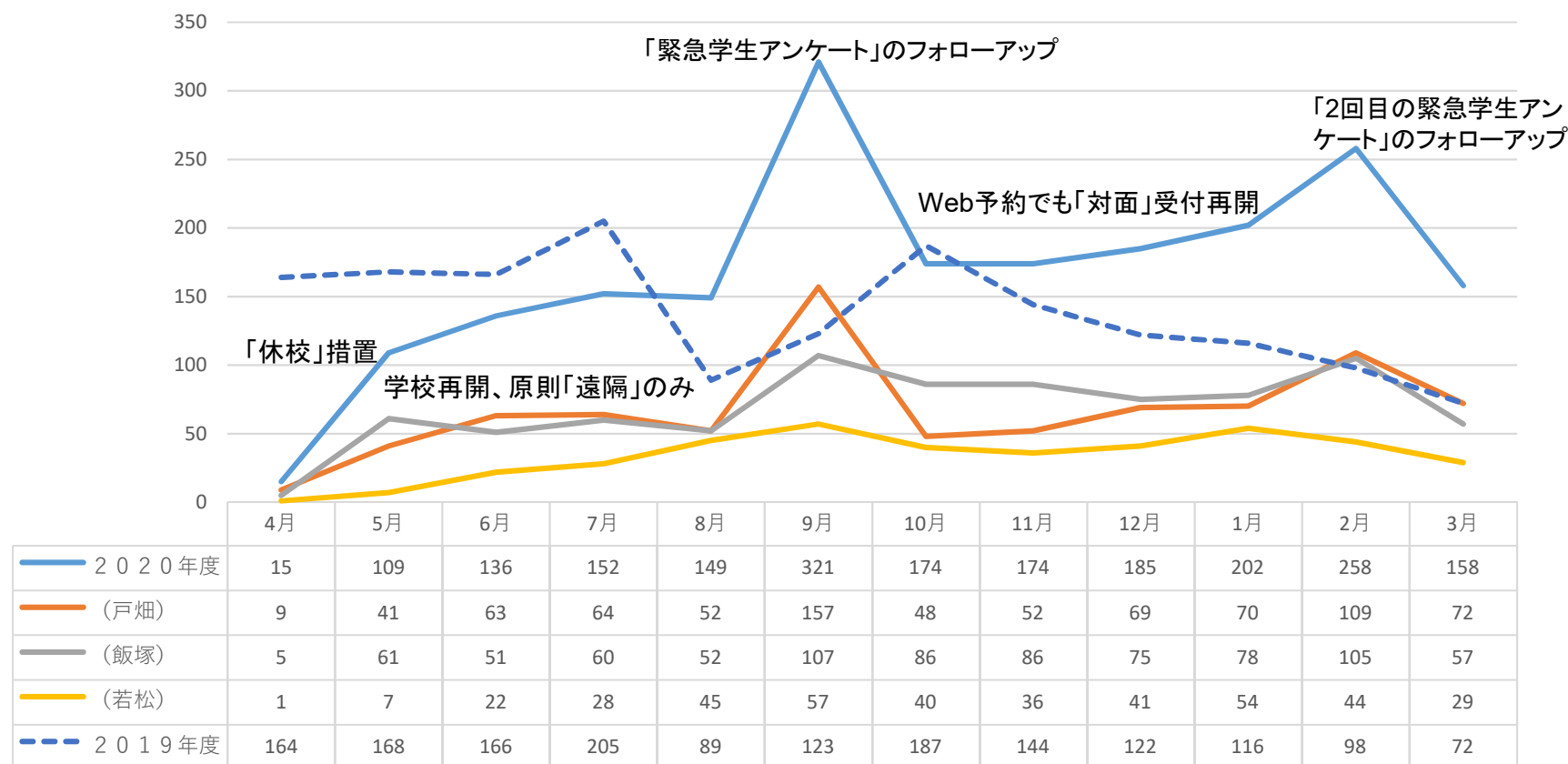
緊急事態措置より、4月～5月の相談件数が低いが、新型コロナウイルスに対する不安に伴う相談があり、特に留学生にとっては情報が枯渇していることから不安も強く、緊急な対応を必要とするケース対応もあった。年間を通して、授業や研究室活動においてリモートを活用する場面が多かったため、例年に比べて、身体症状の相談のための来談件数は少ない。新型コロナウイルス対応方針として、症状が軽くても風邪症状がある場合は、保健センターへの報告を求めたため、呼吸器系の割合が高くなった。



令和2年度より、カウンセラーが2名体制となり、週1回→週2回のカウンセリング対応が可能となったこともあり、カウンセラーの相談件数は昨年に比べて2倍以上増加した(令和元年155件→令和2年404件)。

2020年度カウンセリングの状況

対応件数の推移



- 従来の「対面」に加えて、「遠隔(電話やZoom)」「その他(メールや手紙)」で対応。
- だいたい「電話」4割、「対面」3割、「Zoom」2割、「その他」1割。

緊急学生アンケート(6月、12月)

- 2020年6月と12月(計2回)に、保健センターと学生総合支援室が共同で、全学を対象とした、**コロナ禍における修学や生活、ストレス状態**についての「緊急学生アンケート」を実施。
- 6月アンケート:回答者2108名(回答率**37.46%**)
- 12月アンケート:回答者927名(回答率**16.47%**)

	全学		戸畑		飯塚		若松	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
回答者数 (回答率)	2108名 (37.46%)	927名 (16.47%)	1139名 (38.72%)	477名 (16.22%)	839名 (36.83%)	389名 (17.80%)	130名 (31.78%)	61名 (14.91%)
平均得点	3.93	3.22	4.02	3.01	3.73	3.48	4.37	3.20
標準偏差	3.24	3.08	3.29	2.90	3.08	3.22	3.69	3.40
4点以上	977名 (46.35%)	349名 (37.64%)	429名 (46.78%)	167名 (35.01%)	380名 (45.29%)	159名 (40.87%)	60名 (46.15%)	23名 (37.70%)
有意差	p<0.01		p<0.01		n.s.		p<0.05	

- 戸畑・若松では6月と12月の平均得点の間に有意差が見られた(6月>12月)。
- 高ストレスや相談希望の学生を対象に、**フォローアップ面談**を設定。

「カウンセリング室だより」の発行

vol.11 レジリエンスについて(2021.03)

vol.10 不安について(2021.02)

vol.9 ネット依存について Part2(2021.01)

vol.8 ネット依存について(2020.12)

vol.7 受援力を身につけよう③(2020.11)

vol.6 受援力を身につけよう②(2020.10)

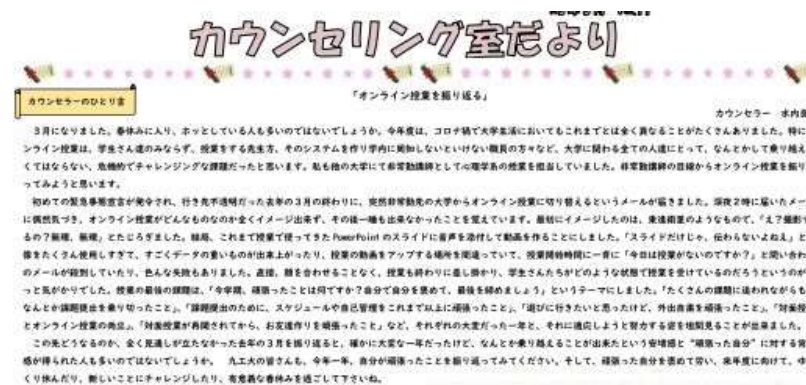
vol.5 受援力を身につけよう①(2020.9)

vol.4 カウンセリングQ&A(2020.8)

vol.3 カウンセラー紹介(2020.7)

vol.2 相談活動再開、生活リズムについて(2020.6)

vol.1 ストレス発散法について(2020.5)



カウンセラーのスケジュール					
月	火	水	木	金	
戸田	橋本	佐藤	山田	山口	小嶋
田中	山口 (AM)	山口	山口	山口	山口
山口	山口	山口	山口	山口	山口
カウンセリング実施数					
月	戸田	橋本	佐藤	計	
1月	69	79	54	202	
2月	109	103	44	256	



レジリエンスを育てよう

皆さん、コロナ禍の1年間、本当に大変な年でした。それぞれの立場で、色々な大変さがあった1年だったと思います。今年度最後のカウンセリング室だよりは、「レジリエンス」について紹介します。先が見えない不安定な世の中ですが、4月からの新生活に向けてお役に立てれば幸いです！



1. レジリエンスとは？

「こころの回復力」のことです。
「失敗しない」力や「くじけにくい」力ではありません。
落ち込んだり、ストレスを感じたときに「回復する」力と言えます。

2. レジリエンスを育てるために

レジリエンスはトレーニングすることで向上することがわかっています。ここでは、アメリカの心理学者が提唱している、10の方法を紹介します。

- (1) 自分を支えてくれるつながりを築く
- (2) 危機を、乗り越えられない問題として考えない
- (3) 変えられない状況を受容する
- (4) 現実的な目標を立てて、それに向かって進む
- (5) 自分で決断し、行動する

(6) 自己発見のための機会を探す



新型コロナの影響

体調不良、生活や睡眠のリズムの乱れ。

オンライン授業への戸惑い、不満や不審感、学習意欲の低下、葛藤。

オンライン授業へポジティブな評価も。

学生同士の繋がりの希薄、寂しさ、孤独感。

(近い)将来への不安、先の見えなさ。

留学やインターンシップなどの機会喪失。

いったん学業を休止(休学)して、起業や就業に向かう。

経済的問題(学費、生活費、交通費)の表面化。

⇒ 個々の学生のリスクやニーズを把握し、相談しやすさを改善していく必要

令和2年度 学生総合支援室 事業報告

主要項目	重点項目	実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
学生支援		不登校等予防的支援		●											
		復学者支援		●						●					
		授業料支援				●	●								
		学生相談委員活動報告・集計			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
障がい 学生支援		JASSO障がい学生の修学支援実態調査							●						
		九州地区大学間連携情報交換会									●				
		九州地区大学間連携プログラム								●					
		全国高等教育障害学生支援協議会					●								
		修学支援のための調査（入学予定者）										●			
		学生サポーター活動								●					
		障がい学生修学支援に関する研修				●									
各種会議		機構総括会議					●								
		学生健康部門・学生総合支援室連絡会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		支援室ミーティング			●	●					●		●		
		学生相談員会				●	●							●	

キャンパス		学科		学年		相談ルート		主の相談内容		活動形態		外部連携ケース数		アウトリーチ ケース数	
戸畑	66	機械知能	14	1年	19	学生	30	メンタルヘルス	7	(職員へ) 助言のみ	28	病院	10	家庭訪問	6
飯塚	58	建設社会	5	2年	39	教員	36	学業	32	直接支援	101	事業者	2	家族	8
若松	5	電気電子	11	3年	21	学部事務関係	13	不登校	37		129	行政	1		14
	129	宇宙システム	2	4年	24	学科事務関係	2	就職・進路	16			就労	0		
		応用化学	7	前期1年	8	保健C	10	経済的	6				13		
		マテリアル	3	前期2年	14	キャリアC	0	対人関係	1						
		総合システム	4	後期1年	1	関係機関	0	ハラス・バイオ	1						
		工学1類	2	後期2年	0	家族	31	家庭環境	2						
		工学2類	5	後期3年	3	その他	7	障がい	15						
		工学3類	1	研究生	0		129	その他	12						
		工学4類	2	不明	0				129						
		工学5類	2		129										
		知能情報	11												
		電子情報	4												
		システム創成	2												
		機械情報	1												
		生命情報	1												
		情報・通信	4												
		知的システム	8												
		物理情報	10												
		生命化学情報	2												
		物質工	0												
		先端機能	1												
		工学専攻	7												
		先端情報	3												
		学際情報	2												
		情報創成	0												
		情報工学専攻	1												
		情工1類	3												
		情工2類	3												
		情工3類	3												
		生体機能応用	3												
		人間知能システム	0												
		生命体工学専攻	2												
			129												

教職員打合せ	36	回（メール、電話以外）
学生面談 （うち遠隔面談）	333 (158)	回（別途、電話対応：199回）
家族面談	27	回
家庭訪問	27	回
家族との電話	126	回
ケース会議	17	回

R2年度 学生相談件数（戸畑）

	合計	学業	不登校	就職・進	経済的	対人関係	メンタル	ハラスメント	家庭環境	障がい	その他
4月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11月	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	11	1	0	0	0	0	4	0	0	0	6

R2年度 学生相談件数（飯塚）

	合計	学業	不登校	就職・進	経済的	対人関係	メンタル	ハラスメント	家庭環境	障がい	その他
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
1月	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	8	3	0	1	0	2	0	1	0	0	1

R2年度 学生相談件数（若松）

	合計	学業	不登校	就職・進	経済的	対人関係	メンタル	ハラスメント	家庭環境	障がい	その他
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
1月	4	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0
2月	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3月	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0

R2年度 学生相談件数（3キャンパス合計）

	合計	学業	不登校	就職・進	経済的	対人関係	メンタル	ハラスメント	家庭環境	障がい	その他
4月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11月	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
12月	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
1月	6	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0
2月	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
3月	8	1	0	2	1	1	1	0	0	0	2
合計	30	6	0	7	3	2	4	1	0	0	7

	視覚障害		聴覚・言語障害			肢体不自由				病弱・虚弱		重複	発達障害(診断あり)				精神障害					その他の障害	(合計)	(支援者数)
	盲	弱視	聾	難聴	言語障害のみ	上肢機能	下肢機能	上下肢機能	他の機能	内部障害等	他の慢性疾患		SLD	ADHD	ASD	発達障害の重複	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害、睡眠障害等	他の精神障害			
学部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	6	1	0	3	9	3	1	6	2	0	1	0	38	27
院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	3	0	1	2	1	0	2	0	15	10
合計	0	1	0	1	0	0	0	0	0	7	8	1	0	4	12	3	2	8	3	0	3	0	53	37
2020	1		1			0				15		1	19				16					0	53	

発達障害(診断なし)					
	SLD	ADHD	ASD	区分不明	合計
学部	1	1	11	1	14
院	0	0	1	1	2
合計	1	1	12	2	16

視覚障害	1	0.02%	
聴覚・言語障害	1	0.02%	
肢体不自由	0	0.00%	
病弱・虚弱	15	0.27%	
重複	1	0.02%	
発達障害	19	0.34%	発達疑い 16 0.28%
精神障害	16	0.28%	
その他の障害	0	0.00%	
合計	53	0.94%	うち支援者数 37 うち申請 6
			(支援率) 69.81%
全学生数		5,628	

